



一吟徹心霊
一曲能興国

錦友…第310号

(令和4年7月20日)

・編集・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
・発行・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
東京都港区麻布十番2-4-14
電話:東京03-5484-3301(代)
〒106-0045

令和4年度 定時総会

令和3年度事業報告並びに収支決算と 令和4年度事業計画並びに予算が承認される

令和4年度定時総会は、令和4年6月24日(金) 9時30分より、石川県加賀市のホテルアローレに於いて、3年ぶりに各地からの会員の参加のもと開催されました。

暑中お見舞い 申し上げます

吟界の諸先生はじめ会員の皆様におかれましては、お変わりなくお健やかにお過ごしのことと存じます。新型コロナウイルスの感染も減少し、あちらこちらで活動が再開されたのも束の間、また感染が拡大してきました。ウイルスと上手に付き合いつながりながら、感染予防に気を配って活動をするしかないのかもしれない。

今年は何年にもない猛暑です。ご自愛くださいまして、ご健勝と併せ、益々のご発展をお祈り申し上げます。

令和四年 盛夏

詩吟朗詠錦城会 会長 山元錦城
詩吟朗詠錦城会 会長 城戸城濤

この総会では、令和3年度の事業報告と収支決算及び令和4年度事業計画と予算、並びに役員改選について審議が行われました。

◆提出議案◆

議長 吉本城川(鹿児島)

副議長 塩川錦晃(奈良)

署名人 土田城紘(滋賀)

第1号議案

令和3年度事業報告書承認の件

第2号議案

令和3年度収支決算書案承認の件

第3号議案

令和4年度事業計画書案承認の件

第4号議案

令和4年度収支予算承認の件

第5号議案

令和5年4月1日より令和5年6月30日までの暫定予算書案承認の件

第6号議案

任期満了に伴う理事、監事の改選

◆報告事項◆

以上の議案についての審議が行われ、各議案とも賛成多数で承認されました。

① 会議開催の報告

② 傘下団体の認可及び閉鎖の報告

③ 組織体長等の変更の報告

④ 会員数報告

⑤ 特別賛助会員の報告

⑥ 団体指導に関する報告

⑦ 全国大会開催地に関する報告

⑧

★令和5年10月8日滋賀県「ひこね市文化プラザ」

★令和6年福岡県

会員異動状況書

会議日程計画書(参考資料)

(次頁に続く)

◆議長及び 議事録署名人の選出◆

議事進行に当たり、次の方々が議長及び議事録署名人に選出されました。

開会の辞・・・佐藤錦泉
会長挨拶・・・城戸城濤

正会員各位のご協力に対し、御礼申し上げます。

正会員数五五七名中、出席者五十二名、書面議決書提出者数三〇四名で、総会成立に必要な定足数二七九名を上回ることが出来、各議案とも賛成多数により、承認されました。

令和3年度 収支計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日
(単位 円)

Table with 2 columns: 科目 (Category) and 決算額 (Final Amount). Rows include 事業活動収支の部, 投資活動収支の部, 財務活動収支の部, 予備費支出, and 当期収支差額.

令和4年度定時総会第2号議案資料

貸借対照表
令和4年3月31日現在
(単位 円)

Table with 2 columns: 科目 (Category) and 決算額 (Final Amount). Rows include 資産の部, 負債の部, 正味財産の部, and 負債及び正味財産合計.

(前頁からの続き)

師範宛に配布した総会資料のうち、報告事項の中に間違いがありましたので、訂正をお願いします。

- (1) 5頁5-2賛助会員名と賛助金内訳の9番の村上フクエ(錦江)さんは、愛知県となつていますが福岡県の間違いでした。
(2) 6頁の団体指導の団体名の8番に「おうみ富士吟友会」(滋賀県守山市)、指導者・杉田錦瑛、団体会員数9名を追加してください。

◆会員増強表彰◆

令和3年度中に新入会者を5名以上加入させた方2名を表彰しました。

飯田錦嶺(大分県玖珠支部)
金子錦佑(東京都台東道場)

閉会の辞・・・金子城大
本村錦香

会員各位には、令和4年度の事業遂行にあたり、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

◆新組織体の紹介◆

台東道場(東京)

道場長 金子錦佑

佐久平道場(長野)

道場長 金子錦佑

◆組織体長の変更◆

福山松浜支部(広島)

支部長 高橋城風

都城支部(宮崎)

支部長 西川錦奏

太田支部(東京)

支部長 須山城蔵

◆新師範の紹介◆

雅号 県名 取得年月

安川錦璋(埼玉) 4・3

重原錦花(東京) 4・3

水野城仁(神奈川) 4・3

長谷川錦游(神奈川) 4・3

まずは
あなたから声かけを

(会員増強のための声かけ推進標語)

(錦城会員向け)

◆本部長の交替◆

林 錦枝 滋賀県本部長



深水城實 静岡県本部長



吉山城勇 宮崎県本部長



毎熊城明 長崎県本部長



令和4年度 事業計画書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

〔事業計画〕

事業(1) 吟詠、詩舞、琵琶に関する公演の実施（予算6,436千円）

- 一. 詩吟全国大会・・・10月9日（日）愛知県名古屋市

事業(2) 吟詠、詩舞、琵琶に関する講習会、研修会の実施（予算3,913千円）

- 一. 全国詩吟講習・研修会
令和4年度第一回指導者講習・研修会・・・令和4年6月23日（木）～24日（金）
石川県加賀市
令和4年度第二回指導者講習・研修会・・・令和5年3月2日（木）～3日（金）
福岡県春日市
- 二. 全国詩舞講習・研修会は随時開催
- 三. 全国琵琶講習・研修会は随時開催
- 四. 傘下認可団体各都道府県本部講習・研修会
各都道府県本部講習・研修会については、各都道府県本部単位に行うよう奨励

事業(3) 公演のための邦楽、洋楽を含む総合芸術の調査並びに自主制作の実施（予算2,159千円）

- 一. 琵琶舞曲の自主制作・調査研究
- 二. 琵琶芸術の振興

事業(4) 吟詠、詩舞、琵琶に関する図書の刊行、機関誌の発行（予算1,592千円）

- 機関誌「錦友」の発行 309号～312号の4回発行

事業(5) 吟詠、詩舞、琵琶に関する広報・宣伝の実施（予算434千円）

- ホームページの改訂と広報・宣伝並びに情報開示に努める

事業(6) 吟詠、詩舞、琵琶に関する合同事業への参画（予算1,475千円）

- 一. 吟道之碑顕彰と維持管理・・・令和4年11月27日（日）静岡県沼津市
- 二. 日本伝統文化吟友会・・・令和4年11月23日（水）石川県金沢市
- 三. 二十一世紀詩歌朗詠懇談会
- 四. 他会等との交流

事業(7) 吟詠、詩舞、琵琶の普及並びに振興を目的とする団体への支援

本会傘下認可団体の大会公演への後援（予算760千円）

- 一. 都道府県本部大会
福岡県本部65周年記念大会 令和4年9月4日（日）福岡県北九州市
神奈川県本部50周年記念大会 令和4年9月25日（日）神奈川県横浜市
- 二. 支部・道場・吟詠部大会
滋賀県本部湖南地区吟詠大会 令和4年5月15日（日）滋賀県能登川市
滋賀県湖東地区吟詠大会 令和4年12月4日（日）滋賀県彦根市
- 三. 公開発表会・開拓普及発表会

事業(8) その他、各号に定める事業に関する事業（予算258千円）

表彰事業の実施及び特別賛助会員の募集事業

- 一. 会員増強に対する表彰
- 二. その他の表彰
功勞表彰
- 三. 本会の趣旨に賛同し、後援者である特別賛助会員及び賛助会員を募集する

事業(9) 不動産賃貸業（予算480千円）

指導者講習研修会

令和4年度の指導者講習研修会は、6月23日(木)、片山津温泉「ホテル・アローレ」に於いて開催されました。

講習会が始まる前に、宗家より、この3年間、吟道之碑前祭が行われなかったため、亡くなられた会員のうち主だった先生方のお名前が読み上げられ、会場で黙祷が捧げられました。

今回の参加者は、69名でした。参加者が少なかったため、吟詠の発表は、全員が独吟で行いました。

開会の辞 林 錦枝総師範
伴奏 河野正明先生

閉会の辞 高木城史総師範
コロナウイルスの感染予防のため、マスクは外して吟じましたが、一人吟じ終わるたびに、マイクカバーを交換して進行了ました。

翌日、総会終了後の24日の13時から宗家による講習会が行われました。

今回は、一人一人が舞台上上がり、宗家から直接ご指導を受けました。詩文の読み方、発声の仕方、感情の入れ方等、懇切丁寧にご指導いただき、会場の方皆さんも自分の事のように熱心に聞き勉強しました。

舞台上上がった方は次の方々です。

- ① 芳本城蝶 (滋賀)
- ② 三重錦寿 (広島)
- ③ 大内城晃 (茨城)
- ④ 山田錦利 (広島)
- ⑤ 山口錦昌 (滋賀)

講習会は、14時に終了し、それぞれ帰途につきました。

催事のご案内

(令和4年7月～5年3月)

◆本会主催 ◆本会後援

◆福岡県本部65周年記念大会・詩舞道錦城流福岡県50周年記念

◆岡垣支部30周年記念記念
・9月4日(日)
・福岡県北九州市

◆神奈川県本部50周年記念大会・丸山城壮宗範3回忌追善
・9月25日(日)
・神奈川県横浜市

◆一般社団法人詩吟朗詠錦城会
・10月9日(日)
・愛知県名古屋市中

◆滋賀県湖東地区・彦根支部発
足65周年記念吟詠大会
・12月4日(日)
・滋賀県彦根市

◆第二回指導者講習・研修会
・3月2日(木)～3日(金)
・福岡県春日市

新入会員の紹介

(2/28～7/1)

久留米道場 森 孝一郎 江頭 康夫

湖南石部道場 岩田恵子
松浦支部 河原 孝

長浜支部 北川 薫
彦根支部 堀本俊紹 益子喜秋
廣内鐵也 児島緋呂子 福田 洋介

佐久平道場 金井達則 木村珠 樹

日南道場 宇賀村キヨ子
水戸支部 飛田幸男

稲沢支部 杉山恵美子
太田支部 富田晃弘

南有馬支部 川口雅族
杷木支部 菊竹重臣

名古屋守山支部 南部文宏
神戸垂水支部 宮部 健

「玉菊灯籠」を聴く会



本部の動き

(4.3.1より 4.6.30まで)

4月11～12日 第4回最高指導者研修会

29日 滋賀県本部の講習研修会

5月13日 常務理事会
14日 理事会

15日 滋賀県本部湖南地区吟詠大会

6月3～5日 長崎県・佐賀県昇格審査 長崎県本部の講習研修会

16～17日 第5回最高指導者研修会

23～24日 令和4年定時総会・指導者講習研修会

29～30日 全国大会プログラム編成会議

吟道之碑前祭

例年11月の最終日曜日に開催されています「吟道之碑前祭」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年まで開催が中止となっています。

錦城会の昨年の合祀対象者は次の方々です。

(敬称略)

平 城楠 大師範 鹿児島

小暮城魂 大師範 埼玉

平田錦葵輿 大師範 茨城

工藤城峻 大師範 道央

林 錦叡 総教師範 福岡

宮嶋錦令 総教師範 滋賀

宮田錦禎 総教師範 宮崎

藤澤錦星 総教師範 滋賀

土田錦川 総教師範 滋賀

榎田城照 総教師範 静岡

平野城睿 大師範 神奈川

金子錦峽 総教師範 佐賀

高木城浅 総教師範 滋賀

中川城松 大師範 岐阜

田中錦樹 総教師範 鹿児島

日高城翠 総教師範 長崎

石原錦紫 総教師範 神奈川

桂田錦鶴 大師範 滋賀

小土井錦日 総教師範 広島

川端城尊 大師範 滋賀

日谷城嘉 大師範 広島

西本錦青 総教師範 福岡

(紙面の都合で、掲載が大変遅れました事をお詫びいたします)

一昨年ご案内いたしました、一龍齋貞心先生の公演「玉菊灯籠」を聴く会が今年10月26日(水)に東京、国立演芸場で全席指定で開催されるそうです。入場券は8月1日の発売ですが、錦城会会員の方には事前受付で頂けるそうです。ご希望枚数・名前・住所・電話等明記して7月末日までにメール teishin-nifty.com か fax 03-39959-7924 までお申込みください。

滋賀県本部湖南地区 吟詠大会開催

風薫る5月15日、滋賀県本部湖南地区吟詠大会を開催致しました。コロナ感染拡大の影響を受け、昨年の10月より延期となりましたが、会員の皆様の発表の場を提供すべく、役員・会員が一丸となり開催にこぎつけました。

前日の悪天候から一転、開催日は好天に恵まれ、今年度最初の大きな行事を祝ってくれているようでした。

激流（姫百合の塔）



当日は、奇しくも、沖繩が本土復帰50年の記念日と重なり、本吟詠大会の特別番組『激流』に姫百合の塔を始め、沖繩の激戦を舞台にした詩を吟じて戦争の悲劇と平和の思いを新たにしたい意義ある吟詠大会になりました。

又吟詠大会には、錦城流宗家・山元錦城先生、錦城会会長・城戸城濤先生、滋賀県本部長・林

錦枝先生を始め、湖東地区より堀川城怨先生、湖北地区より宮川城広先生にご臨席を賜り錦上花を添えて頂きました。

企画吟



書道吟



会員一同、吟じる楽しさを心に残し、今後のお稽古に精進を重ねて行きたいと思えます。

（湖南地区 明智城秀）

老眼鏡

あなたには

私が必要なのです

私を忘れるから 小さな字が見えないのです

どんなに あなたの目が大きくても

好きと云う字さえ 見落としてしまうのです

あなたが新聞を広げる時

そんなに頬をよせなくても 私さえあれば

はなれていても 十分読めるのです

そう かつこうだけの 私ではありません

これからも 愛をつかもうと思うなら

あなたには 私が必要なのです

それなのに

どうして 私を さがしまわるのですか

私を忘れないで下さい

そうです

あなたが寝ていても

私は あなたを みつめているのですから

これから

あなたが愛する人の所に 旅立つときも

彼が

遠くからかけ寄って 来るまで

私を忘れないで下さい

（生活に欠かせない 老眼鏡を見失った時。）
（南房総道場長 井上錦亮94歳）

金丸佐和子 著 えたいの知れない本 第2集より

鹿児島県本部の金丸錦央先生の
著書より抜粋

詩吟朗詠錦城会は

詩の好きなあなたのために

歌の好きなあなたのために

吟詠えると

思ったこともないあなたにも

一人で吟詠え 人の前でも

吟詠えるという自信を

もたせてくれる

そんな趣味の会なのです

発表会やテレビ・ラジオ等で

専門家の方の聞くだけでなく

自分で吟詠してみることが

どんなに楽しいものであるかを

得心いただけることと存じます

詩の好きなあなたなら

歌の好きなあなたなら

すでに歌心をおもちなのです

人は誰でも

歌心をもっているのです

その歌心が

ふとしたはずみに目をさます

詩吟朗詠錦城会は

あなたの為の

そんな趣味の会なのです

※文中の「吟詠」は「うた」と読みます。

南朝ゆかりの地「吉野」で 総会・温習会を開催

令和4年5月22日(日)、大阪府本部総会・温習会を吉野の「吉野館」(錦城会会員の北東城春さんの実家)で行いました。

お天気に恵まれ、新緑の美しい吉野に午前10時30分に到着し、ロープウェイで山頂まで。参加者29名が無事に吉野館に着きました。コロナ禍で2年間行事が全て中止となったなか、やっと温習会ができました。そして、詩吟の仲間にあえた喜びを噛み締めました。

午後0時30分から「吉野館」の山菜や吉野名物の葛切りの入った美味しいお料理をいただき、「吉野館」の方で、総会・温習会の準備をしていただい



いる間に、私たちは、「吉野館」のすぐそばにある「勝手神社」に移動しました。

「勝手神社」は、源義経との別れを惜しんだ静御前が、雪中をさまよひ、ついに囚われの身となり連れてこられたところです。静御前が精一杯の抵抗心を表して、舞を舞ったという「舞塚」が残っています。この「舞塚」の前で、「遊芳野・藤井竹外」、「遊芳野・河野鉄兜」、「吉野懐古・梁川星巖」、「静御前・頼山陽」を男女に分かれて合吟しました。



その後、「吉野館」の素晴らしいお座敷で、総会・個人吟詠と進めました。久しぶりの吟詠

発表に緊張もありましたが、一杯吟じ、お稽古の成果を充分発揮できたと思います。



帰りは自由解散で、吉野を散策しながらゆつくりと吉野山を下り、最後は、駅前で美味しいソフトクリームを食べたり、お土産を買ったりして、思い出に残る有意義な一日になりました。少しづつ、世の中も動き出し、お会い出来る日を楽しみにしております。

まずは、世界が平和でありますように！
(大阪府本部長 塩川錦晃)



錦城流の教本に掲載されている 漢詩の作者(10) 梁川星巖

没年…安政5年9月2日 (1858.10.8)
生年…寛政1年6月18日 (1789.7.10)

江戸後期の詩人。名は卯のち孟緯、字は伯兔のち公図、通称新十郎、星巖は号。

美濃国安八郡曾根村(岐阜県大垣市)の富農の家に生まれる。父は長高。文化4(1801)年、江戸に出て山本北山の奚疑塾に入り儒学と詩文を学び、市河寛齋の江湖詩社に参加した。14年帰郷し、私塾梨花村舎を開く。星巖は放浪を癖とした。

文政3(1820)年、詩人紅蘭と結婚。5年9月、妻を伴って西遊し九州に至った。天保5(1834)年江戸神田お玉が池に住し、玉池吟社を起し、江戸詩壇の盟主として名声高まった。その間、藤田東湖、佐久間象山と交わり時事への関心を深め、弘化2(1845)年玉池吟社を閉じ帰郷し、翌年より京都に定住、ペリー来航後は政治活動に深入りし尊王攘夷を主唱す。安政5(1858)年秋、京都に流

行したコレラに罹り没し、南禅寺天授庵に葬る。死の直後安政大獄が起ったため、世人は星巖を「詩(死)に上手」と評した。

五〇〇〇首におよぶ作品を残し、詩人としての評価は頼山陽より高い。

〔著作〕『梁川星巖全集』全5巻
〔参考文献〕富士川英郎『江戸後期の詩人たち』(沼田哲)

出典 朝日日本歴史人物事典…(株)朝日新聞出版朝日日本歴史人物事典について

梁川星巖の妻 梁川紅蘭

梁川紅蘭は、有名な漢詩人である梁川星巖(やながわせいがん)の妻です。夫の星巖は、美濃の文化を代表し、頼山陽と並んで19世紀初頭の日本文学における二大巨星といわれています。また、幕末の京都で、天皇の主導権のもとに海外からの侵略をはねのけようとする、いわゆる尊皇攘夷を提唱するなど政治活動も行ない、安政の大獄に連座して生涯を終えた詩人です。

梁川紅蘭については(8)面に詳しく掲載します。

第三十一回日本伝統文化吟友会 全国吟剣詩舞コンクール

関東地区予選大会で優勝する

コロナウイルス感染が終息しないまま大会を開催する事が出来るのかを模索して参りましたが、マスクの着用、手先の消毒密にならない等、安全を第一に十分なコロナ対策をして開催をする事になりました。

ここに三年振りに、神奈川県・茨城地区・東京地区・埼玉地区の予選大会が開催されましたので、錦城会から多くの出場者の内、関東決勝大会の出場権を勝ちえた会員の審査結果をご報告いたします。

まずは、5月7日の神奈川県予選大会からです。横浜市泉公会堂で開催され、会場内は緊迫した空気の中での大会となりました。

錦城会員の結果は、
漢詩・一般三部 入賞 古賀 豊
" シード権 石原隆夫
漢詩・一般四部 入賞 丸山武夫
" 入賞 中川新三
短歌・一般の部 優勝 石原隆夫
" 入賞 古賀 豊
審査員は、金子城大、富岡城昶先生が当たり、運営は、高羽城幹先生が務めました。

次は、5月15日、ザ・ヒロサワ・シティ会館に於ける茨城地区予選大会の開催です。審査員は、金子城大が当たり、運営は、富岡城昶先生が務めて、

錦城会員の審査結果は、
漢詩・一般三部 入賞 大内廣光
漢詩・一般四部 準優勝 菊池慎一郎
短歌・一般の部 入賞 川崎真理子

続いて、5月28日、東京地区予選大会です。猛暑の中でのコンクールとなり、会場は、中区・野方区民ホールでの開催です。
錦城会員の審査結果は、
漢詩・一般三部 第三位 佐藤法子

漢詩・一般四部 入賞 山口勝治
" シード権 木屋吉弘
短歌・一般の部 優勝 佐藤法子
" 第三位 木屋吉弘
審査員は、金子城大、高羽城幹先生が当たり、運営は、山口城宝師範が務めました。

最後は、5月29日、宮原コミュニティセンターを会場とする埼玉地区予選大会の開催です。

錦城会員の審査結果は、
漢詩・一般一部 優勝 有原裕絵
漢詩・一般四部 入賞 林 清隆
" シード権 金子筑波
審査員長に、富岡城昶先生が当たり運営は、金子城大が務めました。

来る8月20日開催の関東決勝大会の出場をお慶び申し上げます。おめでとうございました。惜しくも入賞を逃されました皆様方は来年を期待いたしております。錦城会会員の皆様方、各地区予選大会に出場して技量の

一助に役立てて下さいませよう
お願いいたします。

又、今回四地区のコンクールに出場された他流派を含めた総数は、三百四十一名で、最高年齢出場者は、94歳でした。舞台上で頑張るお姿に感動いたしました。日本伝統文化吟友会四地区の会長、埼玉地区谷山岳新先生、神奈川県志田岳富先生、茨城地区軍地岳幽先生、東京地区村雲岳稿先生を始め、各地区役員・委員の先生方に、一人の怪我人も出さず無事に終了出来ました事を感謝し、厚く御礼申し上げます。

(二社)詩吟朗詠錦城会担当
日本伝統文化吟友会 金子城大

照姫悲話 石神井城物語

練馬支部 柳澤錦風

石神井川流域の開発領主として、勢力を伸ばした豊島泰経が築いたという石神井城は、城内に鎮守として氷川神社、三宝寺があり、いずれも応永年間(1394年)建立と伝えられ、城もその頃築かれたとする説が有力である。
対立した江戸城主・太田道灌に攻め落とされ、戦わずして逃亡し、行方不明となっている。
落城の際に城主の娘、照姫が、三宝寺池に身を投げたと伝えられているが、全くの架空の人物であるとも言われている。しか

日本伝統文化吟友会 北海道地区コンクールで優勝

去る6月25日(土)、札幌市教育文化会館において開催された全国吟剣詩舞コンクール北海道地区コンクールに於いて、竹内光汰君が幼年の部で見事優勝しました。



竹内光汰君

審査員を務めた道南本部長・竹崎錦里先生は、「詩文を間違えずしつかりと吟じました。将来が楽しみです。」と嬉しそうにおっしゃっていました。(S)
池には、マガモ、カイツブリ、バンなど水鳥が見られる。三宝寺池、石神井池(ボート池)と二つの池を中心に起伏に富んだ武蔵野の自然が残されている。
子供の頃、三宝寺池の橋の上から糸につるしたスルメを垂らすとサリガニが面白いほど釣れ、水草の中を網で探れば小エビがどっさり。その日の夕食の大馳走を思い出す。
四季折々の違った趣を見せてくれる石神井公園は、練馬区の大いなる宝と言えましょう。

